

上水道事業 令和3年度予算の主な取り組み

※朱書き箇所は、審議会意見を踏まえて追記  
※朱書き下線部は、審議会後に修正(継続事業で令和4年度以降完了分の延長加算)

区分	事業名	目 的	事業内容	備 考
新設改良事業	管路更新事業	①老朽化した管路の更新及び耐震化 ②大規模漏水事故の防止 ③災害時における断水、減水の防止	市内一円の重要幹線と定める基幹管路等以外の管路の布設替え(市内6箇所、延長約1,700m)について、管路診断システムを活用し各年度毎の優先順位を定めた上で、単年度事業として実施する。 主な事業として、別所町や春木若松町などの配水管布設替工事を実施する。	実施による事業効果 ・年間管路更新率 0.22% ・年間耐震化率 0.30% ・ <u>管路総延長 約767km</u> ・ <u>更新基準年数経過管路 約170km</u> ・ <u>経過管路更新率 1.7／170＝1.0%</u> その他管路の耐震化(更新)には多くの時間と費用を要するため、効率的な投資も踏まえた着実な耐震化を図る。
	施設整備・更新事業	①水道施設の耐震化の推進 ②老朽化した施設の適切な維持管理・更新 ③危機管理装備の充実	・今木配水場廃止に伴い、赤山配水場の増強及び耐震化を推進するため、赤山配水場耐震実施設計業務委託を実施する。 ・電気供給が不安定となった場合に備え、自家発電設備を設置するため、白原配水場自家用発電設備設置設計業務委託を実施する。	
第3次施設更新事業 (令和2 ～ 6年度)	管路更新事業	①重要幹線と定める基幹管路等の更新及び耐震化 ②大規模漏水事故の防止 ③災害時における断水、減水の防止	重要幹線と定める基幹管路等の布設替え(市内 <u>6箇所</u> 、延長約 <u>2,600m</u> )について、中長期計画に基づき、継続事業として計画的に実施する。令和3年度の市内4箇所のうち1箇所については、流木低区の配水本管として工期3ヵ年に及ぶ約1,000mのシールド工事を実施する。 主な事業として、流木低区配水本管布設替工事や畑町配水本管布設替工事、額原町や岡山町などの配水管布設替工事を実施する。	実施による事業効果 ・年間管路更新率 <u>0.34%</u> ・年間耐震化率 <u>0.40%</u> ・ <u>管路総延長 約767km</u> ・ <u>更新基準年数経過管路 約170km</u> ・ <u>経過管路更新率 2.6／170＝約1.5%</u> 基幹管路等の耐震化を実施することにより地震に強い配水系統を構築する。
	施設更新事業	①水道施設の耐震化の推進 ②老朽化した施設の適切な維持管理・更新	・重要給水施設に供給する配水場の耐震化を推進するため、光明配水場耐震補強実施設計業務委託を実施する。 ・配水池の防水改修事業として、流木配水場6号配水池防水補修工事(R2～R3の2ヵ年)と流木配水場4号配水池防水補修工事を実施する。	
そ の 他	応急給水関連事業	①平時の大規模漏水に伴う断水、減水の防止 ②災害時における断水、減水の防止	・効率的に給水車を運用するために、応急給水タンクを調達する。 ・応援給水時に必要な装備類を整備する。主な備蓄品は、災害支援活動用ベストや懐中電灯などがある。	応急給水タンクを応急給水場所に設置することにより、給水車据え置き型給水から運搬給水へ。給水車1台で複数の応急給水場所を受け持つことが可能になり応急給水の効率向上が期待できる。 応援給水に行くための装備を整えることにより、現地での応急給水の効率向上が期待できる。